作成日：２００７年　1月３１日
更新日：２０１２年　1月１６日

お客様各位

キヤノンＩＴソリューションズ株式会社

全銀ＴＣＰ通信プログラム
バージョン 3.04 リビジョン01 変更内容について

拝啓　貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、当社製品に格別なるご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。
さて、当社製品「全銀ＴＣＰ通信プログラム」
（Ver.３．０３－０３－＞Ver.３．０４－０１）において、下記のような改修を行いましたのでお知らせ致します。

敬具

概要

［強化項目］

以下の機能を強化しました。

［システム全般］

◎以下のＯＳに対応しました。
・Ｗｉｎｄｏｗｓ　Ｖｉｓｔａ　Ｂｕｓｉｎｅｓｓ
・Ｗｉｎｄｏｗｓ　Ｖｉｓｔａ　Ｂｕｓｉｎｅｓｓ　ｘ６４　Ｅｄｉｔｉｏｎ
・Ｗｉｎｄｏｗｓ　Ｖｉｓｔａ　Ｕｌｔｉｍａｔｅ
・Ｗｉｎｄｏｗｓ　Ｖｉｓｔａ　Ｕｌｔｉｍａｔｅ　ｘ６４　Ｅｄｉｔｉｏｎ

◎以下のＯＳが動作対象から除かれました。
・Ｗｉｎｄｏｗｓ　ＮＴ　Ｗｏｒｋｓｔａｔｉｏｎ　４．０
・Ｗｉｎｄｏｗｓ　９５
・Ｗｉｎｄｏｗｓ　９８
・Ｗｉｎｄｏｗｓ　Ｍｉｌｌｅｎｎｉｕｍ　Ｅｄｉｔｉｏｎ

［リファレンスマニュアル関連］

◎Ｗｉｎｄｏｗｓヘルプ形式からＨＴＭＬヘルプ形式に変更しました。

［改修項目］

以下の問題点を修正しました。

［ＺＧＴＣＰマネージャ関連］

・画面更新するとメモリ使用量が増加する。

・複数のファイル転送を実行中にＺＧＴＣＰマネージャを起動すると、エラーメッセージが表示されたり、操作ができなくなることがある。

［ファイル転送機能関連］

・同時に行ったファイル転送のセクション番号が重複する。

・同じダイヤルアップ接続名のファイル転送を同時に行うと、最初のファイル転送が終了したところでダイヤルアップ接続が切断されてしまう。

・似たダイヤルアップ接続名のファイル転送を同時に行うと、どちらもダイヤルアップ接続が切断されてしまう。

・終了時イベントを設定したファイル転送を連続して行うと、途中でファイル転送が止まることがある。

・送信側から再送要求電文が送信されることがある。

［ＺＧＴＣＰファイル転送エージェント関連］

・ダイヤルアップ接続で異常が発生しても、完了コードが’０’（正常終了）になることがある。

・誤ったデータＩＤで／Mオプションを指定して実行すると、完了コードが’８５’（ファイル転送エージェントの二重起動）になる。

・受信の再試行処理で、ファイル転送が正常終了しても「取り出し済み」にならない。

［ツール関連］

・日立ホストのコードテーブルに誤りがありました。

以　上